

# 令和2年度用「小学算数」1年 年間指導計画作成資料（案）

## 令和2年6月版

### 取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 单元ごとの配當時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準については、小社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

【本資料の見方】

◆配当時間数

黒字は、平時の授業時間数を示しています。  
赤字は、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動（[以外]）を併用して指導する場合を示しています。

12 たしざん		10月下旬～11月上旬（10時間⇒9時間+[以外]） p.104～113			
◆単元の目標と評価規準					
○1位数+1位数で繰り上がりのある加法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)イ(ア)】					
・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。<知・技>					
・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>					
・数や式に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>					
◆指導計画と指導上の留意事項					
時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 0 4 5 1 1 3 (9)			①加法が用いられる場面	・場面絵を見て加法の問題を作り、加法の計算のしかたを振り返る。また、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。 ・算数の学習の進め方を知る。	
			②③1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた(加数分解)を理解する。	・9+4のような、1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかたを加数分解で考える。 ・繰り上がりのある加法の計算練習をする。	
			[とだちのノートを見てみよう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	
			[算数のミカタ]	・繰り上がりのある加法の計算のしかたを考えると、10のまとまりに着目して、10とあといくつという見方をしたことを振り返る。	
		けいさんれんしゅうをしよう	④⑤1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた(被加数分解)を理解する。	・7+9の計算のしかたを、加数分解、被加数分解で考える。 ・繰り上がりのある加法の計算練習をする。	
			⑥1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算ができる。	・繰り上がりのある加法の文章題を解いたり、問題を作ったりする。	
			⑦⑧1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算に習熟する。★	・計算カードを使って、加法の計算練習をする。 ・計算カードを順序よく並べて、気がついたことを話し合う。	・[以外]の学習活動として、計算カードを使った計算練習に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。 ・授業では、計算カードを順序よく並べる活動を中心に、1時間の活動として扱う。
	⑨⑩同じ答えの加法の式を順序よく並べて、被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。	・ある数を示し、その数が答えになる計算カードを取るゲームをする。 ・同じ答えの加法のカードを順序よく並べて、被加数と加数のきまりに着目する。	・計算カードを取るゲームは割愛し、カードを順序よく並べる活動のみを1時間で扱うことが考えられる。		
★まなびリンク シミュレーション「たし算カード(フラッシュカード 繰り上がりのあるたし算の計算練習)」					

◆[以外]の学習活動例や指導上の留意事項  
[以外]における予習・復習の例や、それを踏まえて授業時間数を更に削減する場合の例を示しています。学校や地域の実態に応じて、適宜ご参照ください。

◆赤い網掛け部分

[以外]で取り組むこととする学習活動は、赤い網掛けで示しています。

\*は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

## ● なかよしあつまれ

4月中旬（4時間）  
p.1～9

### ◆単元の目標と評価規準

ものどものとを対応させることによって個数を比べることができるとともに、身のまわりのものの集合を捉える力を身につける。また、数や形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア), B(1)ア(ア)(イ), B(1)イ(ア)】

- ・ものどものとを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。<知・技>
- ・観点に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。<思・判・表>
- ・数や形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	1 ～ 9	(どこがちがうかな)	①身のまわりの数量に対する関心を持ち、ある観点に応じてものの集合を捉えることができる。(1～5)	・2枚の絵の違いを探し、多い・少ない、高い・低い、しかく・さんかく、上・下、左・右などの言葉を用いて表現する。 ・場面絵を見て、お話を作る。 ・同じ動物、ものなどに着目して、集合を作る。(5までの数の集合作り) ・上下、左右など位置や方向を表す言葉を用いてお話を作る。	
		(なかまはどれ)	②身のまわりの数量に対する関心を持ち、ある観点に応じてものの集合を捉えることができる。(6～10)	・同じ動物、ものなどに着目して、集合を作る。(10までの数の集合作り) ・咲いているチューリップとつぼみのチューリップを別の集合と捉えたり、まとめて1つの集合と捉えたりするなど、観点を変えて集合を作る。	
		(たりるかな)	③ものどものとを対応させたり、おはじきに置きかえて対応させたりして、ものの個数を比べることができる。	・ランドセルとロッカーを線でつないで、2つの集合を1対1対応させて数量を比較する。 ・ねずみとボールをおはじきに置きかえて、2つの集合を1対1対応させて数量を比較する。	
		かたちをみつけよう	④身のまわりにあるものの形に関心を持ち、いろいろな形を探ることができる。	・身のまわりから、しかく、さんかく、まるなどの形を探す。	・他教科等と総合的・関連的に扱うことで、算数科としては時数に含めないことが考えられる。

## 1 いくつか

4月下旬～5月中旬（9時間）  
p.10～23

### ◆単元の目標と評価規準

○10までの数及び0について理解し、ものの個数を正しく数えることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)(ウ)】

- ・10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。<知・技>
- ・数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
			①1～5の数の意味、数え方、よみ方を理解する。	・場面絵を使っていろいろなものの数を数え、具体物の集合とブロック、数詞を対応させる。 ・集合の大きさを「いち」～「ご」といい、1～5と数字で表すことを知る。	
			②1～5の数の数え方、よみ方、書き方を理解し、習熟する。	・1～5の数の大きさを理解し、数字の書き方を知る。 ・具体物の数をブロックや数字で表す。	
			③6～10の数の意味、数え方、よみ方を理解する。	・場面絵を使っていろいろなものの数を数え、具体物の集合とブロック、数詞を対応させる。 ・集合の大きさを「ろく」～「じゅう」といい、6～10と数字で表すことを知る。	

9	1 0 2 3	(0というかず)	④6～10の数の数え方、よみ方、書き方を理解し、習熟する。	・6～10の数の大きさを理解し、数字の書き方を知る。 ・具体物の数や、聞こえた音の回数などを数字で表す。 ・数字で表された大きさをブロックなどで表す。	
			⑤10までの数の順序を理解する。	・10までの数を順に唱えたり、ブロックや数字で表したりする。	
			⑥10までの数の大小、系列を理解する。	・数字カードを使って数の大小を比較する場面で、数の大きさをブロックに置きかえたり、大小を言い表したりする。 ・順に並んだ数の空欄に数をあてはめる。	
			⑦0の意味、よみ方、書き方を理解する。	・いちごが1個ずつ減っていく様子を見て、ないことを「れい」といい、0と書くことを知る。 ・輪投げをして1つも入らなかった状態が「0」であることを知る。	
			ことばであそぼう	⑧文字を使った言葉遊びをとおして、数についての感覚を養い、加法の素地となる見方を培う。	・ある文字数になる言葉を考える。 ・指定の文字数と同じ数になるように組を作る。
もつとかずをみつけよう	⑨身のまわりにあるものの数に関心を持ち、10以下の数のものを探すことができる。 ものの性質や形状などによって数に添える助数詞が変化することを理解する。	・学校の中から、1～10の数や集合を探す。 ・いろいろなものの数を、助数詞をつけて数える。(p.176の[もののかずのかぞえかた]も扱う。)	・他教科等と総合的・関連的に扱うことで、算数科としては時数に含めないことが考えられる。		

## 2 なんばんめ

5月中旬 (2時間)  
p.24～27

### ◆単元の目標と評価規準

○集合数と順序数について理解し、個数や順番及びものの位置を正しく数えたり表したりすることができるとともに、集合数と順序数の違いを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)(ウ), B(1)ア(ウ)】

- ・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。<知・技>
- ・集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	2 4 5 2 7		① 順番や位置の表し方、順序数と集合数の意味を理解する。	・かけっこの着順、風船の位置などについてお話をすることとおして、1着、2着、…、上(下)から1番め、2番め、…のように順番や位置を数で表す。 ・集合数(3匹)と順序数(3匹め)の違いを知る。	
			② 11、12のよみ方や順序を理解する。	・干支の動物の順番を調べることとおして、11、12のよみ方、順序を理解する。	
		えあわせゲームをしよう	順序数と集合数を正しく用いることができる。	・えあわせゲームの活動をとおして、順序数を用いてカードの位置を伝える。 ・「前から4番め」「後ろから4人」などの指示に合わせて起立する。	

### 3 いまなんじ

5月中旬 (1時間)  
p.28~29

◆単元の目標と評価規準

○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時」「何時半」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア), C(2)イ(ア)】

- ・日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>
- ・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。<思・判・表>
- ・時刻に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	28 29	はりをあわせよう	①「何時」「何時半」の時刻のよみ方を理解する。★	・日常生活と関連させて、時計のよみ方を練習する。	
			「何時」「何時半」の時刻のよみ方に習熟する。	・模型時計を使って、「何時」「何時半」の問題を出し合う。	

★まなびリンク シミュレーション「時計ツール」

### ◎ たしかめもんだい①

頁	学習活動
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いくつかな」の練習をする。</li> <li>・「なんばんめ」をいいかえよう</li> <li>・順序や位置を声に出して言ったり、言いかえたりする活動に取り組む。</li> </ul>

### 4 いくつといくつ

5月下旬~6月上旬 (7時間)  
p.31~41

◆単元の目標と評価規準

○10までの数について、1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができるとともに、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)】

- ・1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
7	31 34 41		①5を合成・分解することができる。	・袋から赤と青のおはじきを取り出す活動をとおして、5を合成・分解する。	
			②6を合成・分解することができる。	・6個のおはじきを両手に分けて持ち、一方の手だけ開き、もう一方の手にいくつあるかを当てるゲームをとおして、6を合成・分解する。	
			③7を合成・分解することができる。	・2つのさいころの目の和を7にするゲームをとおして、7を合成・分解する。	
			④8を合成・分解することができる。	・数図カードを用いたゲームをとおして、8を合成・分解する。	
			⑤9を合成・分解することができる。	・数字カードを用いたゲームをとおして、9を合成・分解する。	
			⑥10を合成・分解することができる。	・ブロックと数字カードを対応させながら、10を合成・分解する。 ・ブロックと数図カードを対応させながら、10を分解した数を順序よく書く。また、分解した数の並び方を見て、1ずつ増減しているきまりに着目する。	

10であそぼう	⑦10までの数の合成・分解に習熟する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2こで10」神経衰弱のようにして、2つの数で10を作るゲームをする。</li> <li>・「かるたとり」ある数を示し、それと組み合わせて10になるカードを取るゲームをする。</li> <li>・縦横に並ぶ数の中から、合わせて10になる組み合わせを見つけて囲む。</li> </ul>
---------	---------------------	--

## ◎ たしかめもんだい②

頁	学習活動
4 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いまなんじ」「いくつといくつ」の練習をする。</li> <li>・[「いくつといくつ」をいいかえよう]</li> <li>・10までの数の合成・分解を声に出して言ったり、言いかえたりする活動に取り組む。</li> </ul>

## 5 ぜんぶでいくつ

6月上旬～中旬（10時間）  
p.43～54

### ◆単元の目標と評価規準

○加法の意味(増加, 合併)や式について理解し, 1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができるとともに, 具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また, 加法の計算に親しみ, 算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)イ(ア)】

- ・加法の意味(増加, 合併)や式について理解し, 1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し, 計算の意味や計算のしかたを考えたり, 日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ, 算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項	
1 0	4 3 5 4	(ふえるといくつ)	①② 加法の意味(増加), 加法の式について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面絵を見て, 「子どもが4人います。1人来ました。全部で5人になりました。」というお話を作る。</li> <li>・初めに3匹いて, 2匹増えると5匹になる場面を表すことをとおして, 加法(増加)の意味と式, 「たしざん」の意味を知る。</li> </ul>		
		(あわせていくつ)	③ 和が5以下の加法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増加の場面の文章題を解く。</li> <li>・和が5以下の加法の計算練習をする。</li> </ul>		
			④ 加法の意味(合併)を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5匹と3匹を合わせると8匹になる場面を表すことをとおして, 加法(合併)の意味を知る。</li> </ul>		
			⑤ 合併や増加の加法の場面を言葉やブロック, 図で表現し, 加法の意味について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>4+2=6</math>の式をもとに, 合併と増加の問題場面を考え, それぞれ言葉やブロック, 図で表現する。</li> </ul>		
			⑥ 異種の量の加法の意味を理解する。また, 和が10以下の加法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>6+3=9</math>の式になるお話を作る。</li> <li>・画用紙を5人に1枚ずつ配り, まだ2枚残っているときの全部の枚数を求めることをとおして, 異種の量の加法の意味を知る。</li> <li>・和が10以下の加法の計算練習をする。</li> </ul>		
				⑦ 0の加法の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉入れの得点を表す場面をおして, 0の加法の意味を知る。</li> </ul>	
		けいさんれんしゅうをしよう	⑧ 和が10以下の加法の計算に習熟する。★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算カードを使って, 加法の計算練習をする。</li> </ul>		
			⑨ 同じ答えの加法の式を順序よく並べて, 被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答えが6になる加法のカードを順序よく並べる。</li> <li>・同じ答えの加法のカードを順序よく並べる。</li> </ul>		
		たしざんをつくらう	⑩ 10以下の数を, 加法の式で表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1~9までのゼッケンを使って, 指示された数が答えになるようにペアをつくり, 加法の式に表す。</li> </ul>		

★まなびリンク シミュレーション「たし算カード(フラッシュカード 繰り上がりのないたし算の計算練習)」

### ◎ たしかめもんだい③

頁	学習活動
5 5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぜんぶでいくつ」の練習をする。</li> <li>[たしざんえほんをつくろう]</li> <li>・<math>4+3=7</math>の式になるお話を考えて、絵本を作る。</li> </ul>

## 6 のこりはいくつ

6月下旬～7月上旬（8時間）  
p.57～65

### ◆単元の目標と評価規準

○減法の意味(求残, 求補)や式について理解し, 1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算ができるとともに, 具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また, 減法の計算に親しみ, 算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)イ(ア)】

- ・減法の意味(求残, 求補)や式について理解し, 1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し, 計算の意味や計算のしかたを考えたり, 日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ, 算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
8	5 7 6 5		①②減法の意味(求残), 減法の式について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面絵を見て, 「子どもが3人います。2人帰りました。残りは1人になりました。」というお話を作る。</li> <li>・初めに5匹いて, 3匹取ると2匹になる場面を表すことをとおして, 減法(求残)の意味と式, 「ひきざん」の意味を知る。</li> </ul>	
			③10以下の数から1位数をひく減法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求残の場面の文章題を解く。</li> <li>・10以下の数から1位数をひく減法の計算練習をする。</li> </ul>	
			④減法の意味(求補)を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8人のうち3人が大人のときの子どもの人数を求めることをとおして, 減法(求補)の意味を知る。</li> </ul>	
			⑤異種の量の減法の意味を理解する。また, 10以下の数から1位数をひく減法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>6-2=4</math>の式になるお話を作る。</li> <li>・帽子が9個あって6匹のどんぐりが1個ずつ持っていくときの残りの数を求めることをとおして, 異種の量の減法の意味を知る。</li> <li>・10以下の数から1位数をひく減法の計算練習をする。</li> </ul>	
			⑥0の減法の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちごの数が減っていく場面をとおして, 0の減法の意味を知る。</li> </ul>	
		けいさんれんしゅうをしよう	⑦10以下の数から1位数をひく減法の計算に習熟する。★	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算カードを使って, 減法の計算練習をする。</li> </ul>	
			⑧同じ答えの減法の式を順序よく並べて, 被減数や減数の変化のきまりに着目することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答えが4になる減法のカードを順序よく並べる。</li> <li>・同じ答えの減法のカードを順序よく並べる。</li> </ul>	

★まなびリンク シミュレーション「ひき算カード(フラッシュカード 繰り下がりのないひき算の計算練習)」

### ◎ たしかめもんだい④

頁	学習活動
6 6 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「のこりはいくつ」の練習をする。</li> <li>[ひきざんえほんをつくろう]</li> <li>・<math>7-3=4</math>の式になるお話を考えて、絵本を作る。</li> </ul>

## 7 どれだけおおい

7月中旬 (3時間)  
p.68~70

#### ◆単元の目標と評価規準

○減法の意味(求差)や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)イ(ア)】

- ・減法の意味(求差)を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

#### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	6 8 5 7 0	(ちがいはいくつ)	①②減法の意味(求差)を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちごあめはぶどうあめより何個多いかを求めることをとおして、求差(AはBよりいくつ多い)の意味を知る。</li> <li>・バスとタクシーではどちらが何台多いかを求めることをとおして、求差(どちらがいくつ多い)の意味を知る。</li> </ul>	
			③異種の量の減法の意味(求差)を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いすと子どもの数の違いを求めることをとおして、異種の量の求差(ちがいはいくつ)の意味を知る。</li> </ul>	

### ◎ たしかめもんだい⑤

頁	学習活動
7 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どれだけおおい」の練習をする。</li> </ul>

## ■ いったりきたり

7月中旬 (1時間)  
p.72

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	
1	7 2		①数の大小の比較及び減法の計算に習熟する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の大小を比較したり、減法を用いたりして、数カードを使ったすごろくゲームをする。</li> </ul>	

## ■ さんすうえにつき

7月中旬 (1時間)  
p.73

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	
1	7 3		①数や形に関わるお話を言葉や絵に表し、算数への関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数や形に関わるお話を絵日記にして、発表する。</li> </ul>	

## 8 10より大きいかず

9月上旬～中旬（10時間）  
p.74～85

### ◆単元の目標と評価規準

○30程度までの数について理解し、数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(ク), A(1)イ(ア), A(2)ア(エ)】

- ・30程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。<知・技>
- ・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
7	7 4 5 8 2	(20より大きいかず)	①②20までの数の数え方、よみ方、表し方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あさがおや貝殻の数を数えることをとおして、13や18のよみ方、表し方を知る。</li> <li>・とんぼの数を数えることをとおして、20のよみ方、表し方を知る。</li> <li>・11～20の数のよみ方、書き方を知る。</li> </ul>	
			③数のまとまりに着目しながら、20までの数を数えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20までの具体物を、10といくつとみて数えたり、2とびや5とびで数えたりする。</li> </ul>	
			④20までの数を合成・分解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20までの数を10といくつに合成・分解する。</li> </ul>	
			⑤20までの数を数直線上に表し、数の順序、系列を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うさぎなどの進んだ位置を考えることをとおして、数直線(数の線)について知る。</li> <li>・20までの数の順序、系列を考える。</li> <li>・20までの数で順序数と集合数の違いを考える。</li> </ul>	
			⑥20までの数の大小を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20までの数の大小を比較したり、大小を言い表したりする。</li> </ul>	
3	8 3 5 8 5	たしざんとひきざん	⑦20台、30台の数の数え方、よみ方、表し方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりやノートの数を数えることをとおして、20台、30台の数の数え方、よみ方、書き方を知る。</li> </ul>	
			⑧十＋1位数の加法と、その逆の減法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10＋3、13－3のような、十＋1位数の加法の計算とその逆の減法の計算のしかたを、数の構成をもとに考える。</li> </ul>	
			⑨繰り上がり、繰り下がりのない、十何＋1位数の加法と、その逆の減法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15＋2、18－3のような、十何＋1位数の加法の計算とその逆の減法の計算のしかたを、数の構成をもとに考える。</li> </ul>	
		かずをさがそう	[10をひくひきざん]*	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17－10の答えの求め方を考える。</li> </ul>	
		かずをさがそう	⑩身のまわりの数に関心を持ち、30くらいまでの数を探ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりから、30くらいまでの数を探す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科等と合科的・関連的に扱うことで、算教科としては時数に含めないことが考えられる。</li> </ul>

## 9 かずをせいりして

9月下旬（2時間）

p.86～89

### ◆単元の目標と評価規準

○絵や図を用いた数量の表現についての理解の基礎となる経験を重ね、ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができるとともに、データの個数に着目して身のまわりの事象の特徴を捉える力を身につける。また、数量の整理に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア), D(1)イ(ア)】

- ・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。<知・技>
- ・データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。<思・判・表>
- ・数量の整理に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	8 6 5		①②ものの数を種類ごとに分類整理したり、絵や図に表したりすることができる。	・あさがおの数を、「曜日」に着目して分類整理し、絵グラフに表す。 ・あさがおの数を、着目する観点を「色」に変えて分類整理し、絵グラフに表して、気がついたことを話し合う。	
	8 9	かずのおおさをくらべよう	絵や図を用いた数量の表現に関心をもち、日常生活や学習に絵グラフを活用することができる。*	・野菜の数調べなど、学級の興味・関心に応じて資料を集め、絵グラフに表したりよみ取ったりする。 ・絵や図の代わりに記号を用いてグラフに表す場合があることを知る。	

## 10 かたちあそび

9月下旬～10月上旬（5時間）

p.90～94

### ◆単元の目標と評価規準

○立体図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ), B(1)イ(ア)】

- ・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>
- ・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。<思・判・表>
- ・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	9 0 5 9 4	たかくつもう まちをつくろう	①②箱などの具体物を観察し、それらを使って構成する活動をとおして、立体図形の特徴や機能を理解する。	・箱を高く積み上げる活動に取り組む、高く積むための工夫について説明する。 ・建物や車などいろいろな形を作り、形を構成する際の工夫について説明する。	・形作りの活動は他教科等と総合的・関連的に扱い、算数科の授業では形作りの工夫などを話し合うところに焦点化することで、第1・2時を1時間で指導することが考えられる。
			③箱などの具体物を観察し、それらの形の特徴を捉えて分類することができる。	・箱の形の特徴に着目して、箱の形、さいころの形、つつの形、ボールの形に仲間分けをする。	
			④箱などの具体物の面の形の特徴を捉え、それらを使って形を構成することができる。	・箱の形の面を色紙に写し取って切り取り、ながしかく、ましかく、さんかく、まるに仲間分けをする。 ・面の形を切り取った色紙を使っているいろいろな形を構成する。	
			⑤立体図形の特徴を捉え、表現することができる。	・形の特徴を言葉で表し伝え、その特徴をもつ立体図形を手で触って当てる。 ・立体図形を触って特徴を伝え、その特徴からどんな形かを当てる。	

◎ たしかめもんだい⑥

頁	学習活動
9 5	・「10より大きいかず」「かずをせいりして」「かたちあそび」の練習をする。

■ こうていでさんすう

10月上旬 (1時間⇒0時間+[以外])

p.96~98

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 (0)	9 6 7		①加法, 減法が用いられる場面を理解し, 文章題を解くことができる。	・校庭の場面絵をもとに, 加法, 減法の問題を解いたり, 問題を作ったりする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

11 3つのかずのたしざん, ひきざん

10月中旬 (4時間)

p.98~102

◆単元の目標と評価規準

○3口の数の加法, 減法の意味や式について理解し, 具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また, 加法, 減法の計算に親しみ, 算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ), A(2)ア(ア)(イ), A(2)イ(ア)】

- ・3口の加法, 減法の意味を理解し, 式に表して計算することができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し, 計算の意味や計算のしかたを考えたり, 日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ, 算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	9 8 1 0 2		①3口の数の加法になる場面を式に表し, 計算ができる。	・電車ごっこでうさぎが乗っていく場面絵を見て, 3口の加法の式に表し, 答えを求める。	
			②3口の数の減法になる場面を式に表し, 計算ができる。	・教室のりすが帰る場面絵を見て, 3口の減法の式に表し, 答えを求める。	
			③3口の数の加減混合の計算になる場面を式に表し, 計算ができる。	・メダルをあげたり作ったりする場面絵を見て, 3口の加減混合の式に表し, 答えを求める。	
		10こをならべよう	④10を多面的に捉えて, 式に表すことができる。	・10個のおはじきの並べ方をいろいろな式に表したり, 表された式から並べ方を考えたりする。	

◎ たしかめもんだい⑦

頁	学習活動
1 0 3	・「3つのかずのたしざん, ひきざん」の練習をする。

# 12 たしざん

## ◆単元の目標と評価規準

○1位数+1位数で繰り上がりのある加法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)イ(ア)】

- ・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

## ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 0 4 5 1 1 3			①加法が用いられる場面を理解し、加法の問題を作ることができる。	・場面絵を見て加法の問題を作り、加法の計算のしかたを振り返る。また、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。	
			②③1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた(加数分解)を理解する。	・9+4のような、1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかたを加数分解で考える。 ・繰り上がりのある加法の計算練習をする。	
			[ともだちのノートを見よう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	
			[算数のミカタ]	・繰り上がりのある加法の計算のしかたを考えると、10のまとまりに着目して、10とあといくつという見方をしたことを振り返る。	
			④⑤1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた(被加数分解)を理解する。	・7+9の計算のしかたを、加数分解、被加数分解で考える。 ・繰り上がりのある加法の計算練習をする。	
			⑥1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算ができる。	・繰り上がりのある加法の文章題を解いたり、問題を作ったりする。	
		けいさんれんしゅうをしよう	⑦⑧1位数+1位数で繰り上がりのある加法の計算に習熟する。★	・計算カードを使って、加法の計算練習をする。  ・計算カードを順序よく並べて、気がついたことを話し合う。	・[以外]の学習活動として、計算カードを使った計算練習に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。  ・授業では、計算カードを順序よく並べる活動を中心に、1時間の活動として扱う。
			⑨⑩同じ答えの加法の式を順序よく並べて、被加数や加数の変化のきまりに着目することができる。	・ある数を示し、その数が答えになる計算カードを取るゲームをする。 ・同じ答えの加法のカードを順序よく並べて、被加数と加数のきまりに着目する。	・計算カードを取るゲームは割愛し、カードを順序よく並べる活動のみを1時間で扱うことが考えられる。

★まなびリンク シミュレーション「たし算カード(フラッシュカード 繰り上がりのあるたし算の計算練習)」

## ◎ たしかめもんだい⑧

頁	学習活動
1 1 1 5	・「たしざん」の練習をする。  [なにが出てくるかな] ・繰り上がりのある加法の計算の練習に取り組む。

# 13 ひきざん

## ◆単元の目標と評価規準

○十何－1位数で繰り下がりのある減法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)イ(ア)】

- ・十何－1位数で繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解し、減法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

## ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
10(9)	1 6 1 2 5		①減法が用いられる場面を理解し、減法の問題を作ることができる。	・場面絵を見て減法の問題を作り、減法の計算のしかたを振り返る。また、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。	
			②③十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算のしかた(減加法)を理解する。	・12－9のような、十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算のしかたを減加法で考える。 ・繰り下がりのある減法の計算練習をする。	
			[ともだちのノートを見よう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	
			[おおいのかな、すくないのかな]	・数が多い・少ないを言い換える活動をとおして、加法と減法が逆の関係にあることに気づく。	
			④⑤十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算のしかた(減減法)を理解する。	・12－3の計算のしかたを、減加法、減減法で考える。 ・繰り下がりのある減法の計算練習をする。	
			⑥十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算ができる。	・繰り下がりのある減法の問題を解いたり、問題を作ったりする。	
		けいさんれんしゅうをしよう	⑦⑧十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算に習熟する。★	・計算カードを使って、減法の計算練習をする。  ・計算カードを順序よく並べて、気がついたことを話し合う。	・[以外]の学習活動として、計算カードを使った計算練習に取り組む。可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。  ・授業では、計算カードを順序よく並べる活動を中心に、1時間の活動として扱う。
			⑨⑩同じ答えの減法の式を順序よく並べて、被減数や減数の変化のきまりに着目することができる。	・ある計算カードを示し、それと同じ答えになる計算カードを出すゲームをする。 ・同じ答えの減法のカードを順序よく並べて、被減数と減数のきまりに着目する。	・計算カードを使ったゲームは割愛し、カードを順序よく並べる活動のみを1時間で扱うことが考えられる。

★まなびリンク シミュレーション「ひき算カード(フラッシュカード 繰り下がりのあるひき算の計算練習)」

## ◎ たしかめもんだい◎

頁	学習活動
1	・「ひきざん」の練習をする。
2	[ななが出てくるかな]
6	・繰り下がりのある減法の計算の練習に取り組む。
7	

# 14 くらべかた

12月上旬～中旬（9時間）

p.128～138

## ◆単元の目標と評価規準

○量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ), C(1)イ(ア)】

- ・長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。<知・技>
- ・身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。<思・判・表>
- ・身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

## ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
9	1 2 8 5 1 3 8	(ながさくらべ)	①ものの大きさを比べることに興味をもち、長さの意味、比べ方(直接比較)を理解する。	・身のまわりにあるものの大きさ(長さ、かさ、広さなど)に着目し、大きさを表す言葉(長い、多い、広いなど)を用いて表現する。 ・2本の鉛筆、2本のひも、ハンカチの縦と横の長さを直接比較で比べる。	
			②③長さの比べ方(間接比較)を理解する。	・教卓が教室の入り口を通るかどうか、長さをテープに写し取って間接比較で比べる。 ・いろいろなものの長さをテープに写し取って比べる。	
			④長さの任意単位による測定について理解する。	・学習機の横と縦の長さを、糊や鉛筆を単位として、そのいくつかで表して比べる。 ・いろいろなものの長さを、方眼のいくつかで表して比べる。	
		(水のかさしらべ)	⑤⑥かさの意味、比べ方(直接比較、間接比較)を理解する。	・2つの入れ物のかさを、一方の入れ物の水を他方の入れ物に移して比べる。 ・3つの入れ物のかさを、同じ入れ物に水を移したときの水面の高さで比べる。 ・2つの水槽のかさを、一方の水槽を他方の中に入れて比べる。	
			⑦かさの任意単位による測定について理解する。	・2つの水筒のかさについて、どちらがどれだけ多く入るかを、同じ大きさのコップを単位として、そのいくつかで表して比べる。	
		(ひろさくらべ)	⑧広さの意味、比べ方(直接比較)、任意単位による測定について理解する。	・レジャーシートの広さを、直接重ねて比べる。 ・掲示板の広さを、同じ大きさの紙を単位として、そのいくつかで表して比べる。	
		じんとりゲームをしよう	⑨広さを任意単位で表し、比べることができる。	・方眼を使った陣取り遊びに取り組む、陣地の広さをます目のいくつかで表して比べる。	

## ◎ たしかめもんだい⑩

頁	学習活動
1 3 9	・「くらべかた」の練習をする。

## ■ さんすうでふゆじたく

12月下旬（1時間⇒0時間+[以外]）

p.140～141

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 ( 0 )	1 4 0 1 5		①20までの数の順序、系列、加法、減法の計算に習熟する。	・20までの数で、すごろくをする。 ・加法、減法の練習問題に取り組む。 ・「けいさんしりとり」に取り組む。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

# 15 大きなかず

1月上旬～2月上旬（11時間）  
p.142～156

## ◆単元の目標と評価規準

○2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方の基礎を理解し、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び簡単な場合について2位数などの加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(オ)(カ)(キ)(ク)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】

- ・2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。<知・技>
- ・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

## ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
8	1 4 2 5 3	(100より大きいかず)	①②100未満の数の数え方、よみ方、表し方、十進位取り記数法の基礎(一の位、十の位)を理解する。	・あさがおの種の数を10のまとまりを作って数えることをとおして、100未満の数のよみ方、表し方を知る。 ・十の位、一の位について知る。	
			③2位数の構成を理解する。	・43個のブロックを、ぱっと見て個数がわかりやすくなるように置く。 ・2位数を10がいくつと1がいくつと捉えるなど、多様な見方で表す。	
			④100の数え方、よみ方、書き方を理解する。	・ビーズの数を数えることをとおして、10を10個集めた数を「百」といい、100と書くことや、99より1大きい数であることを知る。	
			⑤100までの数表を見て、数の並び方のきまりに着目することができる。	・100までの数表を縦、横、斜めに見て、数の並び方のきまりを見つける。	
			⑥数直線をもとに、2位数の順序、大小、系列について理解する。	・数直線(数の線)を用いて、100までの数の順序、大小、系列を考える。	
			⑦⑧簡単な3位数の数え方、よみ方、表し方、順序、大小、系列を理解する。	・色違いの花の数を数えることをとおして、100より大きい数の表し方を知る。 ・120程度までの数の表し方、順序、大小、系列を考える。	
			[さんすうメモ]*	・十の位の1つ左の位を百の位ということを知る。	
3	1 5 4 1 5 6	たしざんとひきざん	⑨十を単位としてみられる数の加法、減法の計算のしかたを理解する。	・ $30+20$ 、 $60-20$ のような、簡単な2位数どうしの加法、減法の計算のしかたを考える。	
			⑩簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを理解する。	・ $24+3$ 、 $36-4$ のような、簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える。	
		かずあてゲーム	⑪2位数の構成、順序、大小、系列について理解を深める。	・数の大きさに関わる質問をして、相手の持っているカードの数をできるだけ少ない回数で当てるゲームをする。	

## ◎ たしかめもんだい⑪

頁	学習活動
1 5 7	・「大きなかず」の練習をする。

## 16 なんじなんぷん

2月上旬（3時間）  
p.158～160

### ◆単元の目標と評価規準

○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時何分」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア), C(2)イ(ア)】

- ・日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>
- ・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。<思・判・表>
- ・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	1 5 6 8 0		①②時計のしくみを理解し、時刻をよむことができる。★	・時計の目盛りのしくみを調べ、日常生活に関連させて、「何時何分」のような時刻をよんだり、用いたりする。	
		なんじなんぷんかな	③「何時何分」の時刻のよみ方に習熟する。	・模型時計を使って、「何時何分」の問題を出し合う。	

★まなびリンク シミュレーション「時計ツール」

## ■ おなじかずずつにわけよう

2月中旬（1時間）  
p.161

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 6 1		①1つの数を多面的にみて、同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、おはじきや式で表すことができる。	・12個のおはじきを2個ずつに分けたり、2人で同じ数ずつに分けたりして、それらを式に表す。	

## 17 どんなしきになるかな

2月中旬～下旬（4時間）  
p.162～165

### ◆単元の目標と評価規準

○順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)ア(イ), A(2)イ(ア)】

- ・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	1 6 2 5	(じゅんばんのかずのけいさん)	①順序数の加法の意味、計算のしかたを理解する。	・ある子どもの位置が前から5番めで、更に後ろに3人いる場面で、全部で何人いるかを図などをかいて考え、加法を適用して解決する。	
			②順序数の減法の意味、計算のしかたを理解する。	・全部で9人並んでいて、ある子どもの位置が前から4番めの場面で、後ろに何人いるかを図などをかいて考え、減法を適用して解決する。	
		(ちがいをかんがえるけいさん)	③求大の場面の加法の意味、計算のしかたを理解する。	・兄が作った雪玉の数と、妹がそれより何個多く作ったかがわかっている場面で、妹が作った雪玉の数を図などをかいて考え、加法を適用して解決する。	
			④求小の場面の減法の意味、計算のしかたを理解する。	・兄が食べた豆の数と、妹がそれより何個少なく食べたかがわかっている場面で、妹が食べた数を図などをかいて考え、減法を適用して解決する。	

## ◎ たしかめもんだい⑫

頁	学習活動
1 6 6 7 5	・「なんじなんぷん」「どんなしきになるかな」の練習をする。

## 18 かたちづくり

2月下旬～3月上旬（5時間）  
p.168～171

### ◆単元の目標と評価規準

○平面図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ), B(1)イ(ア)】

- ・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>
- ・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとって形の構成について考えたりしている。<思・判・表>
- ・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

### ◆指導計画と指導上の留意事項

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
5	1 6 8 5 1 7 1		①②ものの形の特徴を捉え、色板を使って形を構成・分解することができる。 ずらす、回す、裏返すなどの移動の操作によって、形を構成することができる。	・色板を組み合わせて、シルエットに合わせた形を作ったり、いろいろな形を作ったりする。 ・4枚の色板でできた形を、ずらす、回す、裏返すなどの操作によって1枚だけ移動して、ほかの形に変える。	
			③ものの形を線で捉え、ストローを使って形を構成・分解することができる。	・ストローを使って、さんかくやしかくを作ったり、いろいろな形を作ったりする。	
			[かたちを見つけよう]	・身のまわりから、いろいろな形のものを見つける。	
			④ものの形を点と線で捉え、格子点を線でつないで形を構成・分解することができる。	・格子点を線でつないで、さんかくやしかくを作ったり、いろいろな形を作ったりする。	
		いろいろパズルをつくろう	⑤色板を使って形を構成・分解する活動をおして、平面図形についての感覚を豊かにする。	・色板で作った形のシルエットでパズルを作り、友だちと交換して解き合う。	

## ■ どこにあるかな

3月上旬（1時間）  
p.172

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 7 2		①2方向からものの位置を表すことができる。	・ロッカーのイラストを見て、下から○番め、左から○番めのように、2方向からものの位置を表す。	

◎ 1年のまとめ

3月中旬 (3時間⇒0時間+[以外])

p.173~175

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動			
3 ( 0 )	1		①②③第1学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算, 図形, 測定, データの活用についての問題に取り組む。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。		
	7					[大きなかずのたしざん]*	・34+20の答えの求め方を考える。
	3					[1から9までたすと]	・1から9までの和を工夫して求める。

■ もののいちのかぞえかた

	頁	学習活動
	1 7 6	・いろいろなものを数えるときの助数詞について知る。

■ あたらしい1年生がくるよ

	頁	学習活動
	1 7 7 8 5	・教室の場面絵を見て, 1学年で学習した内容についての問題を作り, 答えを求める。

■ アスレチックすごろく

	頁	学習活動
	1 8 9 0 5	・120までの数の順序, 大小, 系列についての学習を活用して, すごろくゲームをする。